

こおりやま 市議会だより



第197号 - 令和3年6月定例会 -



ICTを活用した新たな学びへ
(芳山小学校)

主な掲載内容

6月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	2頁
議決結果等	3頁
議会PDC Aサイクル	4頁
代表質問、市政一般質問	5～16頁
特別委員会、議場見学	17頁
令和2年度政務活動費収支報告	18,19頁
議会報告会開催案内	20頁



発行日：令和3(2021)年8月1日
発行：郡山市議会
編集：郡山市議会広聴広報委員会
〒963-8601 郡山市朝日一丁目23番7号
TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810
メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

令和3年6月定例会のあらまし

新型コロナウイルス感染症対策の拡充に要する経費を含む令和3年度一般会計補正予算など議案26件、議案案2件を可決

6月定例会を、6月11日から6月30日までの20日間にわたり開催しました。

初日は、会期の決定、諸般の報告に続き、旧豊田貯水池利活用特別委員会から委員長報告がなされ、付託案件について、全会一致で可決し、その後、市長が提出議案の提案理由を述べました。

17日と18日の代表質問では、会派を代表し、6人の議員が質問を行いました。

21日から24日までは、14人の議員が市政一般質問を行いました。

25日と28日は、各常任委員会で、付託された議案23件と請願6件を審査しました。

最終日となる30日の本会議では、各常任委員会の審査結

果の報告を受け、賛否が分かれた議案等に、4人の議員から討論がありました。

その後、採決の結果、郡山市条例等の一部を改正する条例など議案21件を全会一致で、令和3年度一般会計補正予算（第4号）など議案2件を賛成多数で可決したほか、

請願2件を全会一致で採択し、4件を賛成少数で不採択としました。

また、追加提出の人事案件3件に全会一致で同意した後、7月20日に任期満了となる市選挙管理委員会選挙管理委員と補充員の選挙を行いました。さらに、地方財政の充実・強化を求める意見書など議案2件を全会一致で可決し、全日程を終了しました。

常任委員会の審査状況

総務財政常任委員会

問 消防団車庫詰所の建替えの内容は。

答 安積地区隊・喜久田地区消防詰所が老朽化のため、建替えを行う。

安積地区隊については、木造2階建て約96㎡、喜久田地区隊については、木造平屋建て約93㎡、それぞれ車庫、会議室、シャワー室を備えた建替えを行っていく。

環境経済常任委員会

問 4月に凍霜害が発生したが、どのような予防対策を行っているのか。

答 市防霜対策本部の設置や農家へメール等を利用した霜注意報の情報を送信するなど、注意喚起をしている。

また、施設整備対策である防霜ファン等の導入に対しては、国や県の補助制度がある。

建設水道常任委員会

問 私道へのカーブミラー設置補助事業の補助条件は。

また、撤去費用も補助対象となるか。

答 町内会や、私道に隣接する3戸以上の団体がカーブミラーを設置する場合には、補助の対象となる。

また、撤去は維持管理とみなすため、補助対象とはならない。

文教福祉常任委員会

問 保育業務支援システムの活用方法と公立保育所以外の施設へ拡大する計画は。

答 登降園時刻管理、保護者へのお知らせ配信、発育測定健康管理等に利用し、保護者との情報共有、保育士の働き方改革に寄与している。

また、今年度中に市内民間認可保育所59か所中、58か所で導入が完了する予定である。

賛否が分かれた議案等



賛成は「○」、反対は「×」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。

件名	議決結果	会派の賛否（志翔会は、議長を除く。）									
		志翔会	新市政会	郡山市議会公明党	緑風会	立憲・社民フォーラム	日本共産党郡山市議団	虹とみどりの会	無所属の会	立憲民主党	国民民主党
		10人	9人	4人	4人	3人	2人	1人	1人	1人	1人
補正予算 一般会計（第4号）	原案可決	※	○	○	○	○	×	×	○	○	○
条例改正 郡山市営住宅条例	原案可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
請願	郡山市長は、令和元年11月29日付けで福島県知事あてに緊急要望書を提出し、国・福島県が一体となって阿武隈川水系河川整備基本方針及び郡山圏域河川整備計画の見直しを行い、郡山市逢瀬川バックウォーター対策を講じるよう求めたが、通常の河川維持管理業務として行う河川区域内の堆積していた土砂の撤去のみで、バックウォーター現象を抜本的に解消する工事を実施していないことから、意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	○	○	○	○
	国に対し「トリチウム等を含む処理水の処分方法について再検討を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	○	○	×
	「多核種除去設備等処理水の海洋放出の方針決定を撤回し、当面は陸上保管することを求める意見書」を国に提出することを求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	○	○	×
	新型コロナウイルス禍による米危機の改善を求める請願	不採択	×	×	×	×	○	○	○	×	×

※賛成9、反対1

会派の構成は6月30日現在のものです。

全会一致で可決した議案等

補正予算 一般会計（第5号）	郡山市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等
特別会計 国民健康保険（第1号）、後期高齢者医療（第1号）、介護保険（第1号）、母子父子寡婦福祉資金貸付金（第1号）	郡山市国民健康保険税条例
条例制定 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例	新型コロナウイルス感染症により収入が減少した者等に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例
条例改正	郡山市固定資産評価審査委員会条例
	郡山市高齢者等就業支援団体認定審査会条例
	郡山市税条例等
	郡山市手数料条例
	郡山市保護施設等の設備及び運営に関する基準を定める条例
	郡山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
その他	工事請負契約（富久山クリーンセンターリサイクル推進施設設備工事、大島小学校校舎改修工事）
	業務委託契約（東部幹線こ線橋新設工事）
	財産の取得（消防ポンプ自動車、教授用タブレット端末機）
	専決処分の承認を求めること
郡山市公平委員会委員の選任	
郡山市片平財産区管理委員の選任	
郡山市農業委員会委員の任命	

採択した請願

次の請願を全会一致で採択しました。

- 地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書
- 「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書

可決した意見書

次の意見書を全会一致で可決しました。

- 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

議会P D C Aサイクル

各常任委員会で、事業の進捗報告の聴取と評価を実施するP D C Aサイクルの取組みについて、定例会ごとに当局から報告を受け、今定例会において、全対象事業に対する評価をまとめました。



常任委員会	令和2年度対象事業とその評価
総務財政	<p>◆(仮称)歴史情報・公文書館施設整備事業</p> <p>立体駐車場の台数や周辺地区の渋滞対策などについて質疑を交わし、新型コロナウイルス感染症の影響により一部繰越した事業があったが、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に行われたと評価した。</p>
建設水道	<p>◆雨水貯留施設等整備事業</p> <p>貯留管を設計する際の貯留量や事業実施地区の選定などについて質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき予定通り進捗したと評価した。</p>
環境経済	<p>◆猪苗代湖一周サイクルツーリズム推進事業</p> <p>サイクルトレインや事業コースの道路整備などについて質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適正に実施されたと評価した。</p>
文教福祉	<p>◆健康増進事業</p> <p>がん検診6種類の受診率や集団健診の延期などについて質疑を交わし、新型コロナウイルス感染症の影響により実施方法に変更はあったが、事業計画に基づき、概ね適正に実施されたと評価した。</p>
	<p>◆保育士・保育所支援センター事業（保育士宿舍借り上げ支援事業を含む）</p> <p>潜在保育士のマッチング数や補助金等の交付決定者数などについて質疑を交わし、事業計画に基づき適切に実施されたと評価した。</p>
	<p>◆小学校長寿命化改修事業</p> <p>長寿命化の整備計画や耐震、バリアフリーなどについて質疑を交わし、年度内の事業が完了したことを確認し、事業計画に基づき適切に整備されたと評価した。</p>
	<p>◆小・中学校未来を拓く教育の情報化推進事業・小中一貫プログラミング教育推進事業・統合型校務支援システム</p> <p>システム導入研修やオンライン学習環境などについて質疑を交わし、年度内の事業は全て完了したことを確認し、事業計画に基づき適切に実施されたと評価した。</p>

記事訂正のおわび

前号第196号の掲載記事に一部誤りがありましたので、おわびして訂正いたします。

3ページ「賛否が分かれた議案等」の表中、「福島県に甲状腺検査の学校検査を継続するよう求める請願」
社会民主党の賛否（誤）×→（正）○

令和3年6月定例会 代表質問

◎代表質問とは

会派を代表する議員が行う、市長の市政方針と提案理由に対する質問をいいます。

●掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。

●記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

●録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

●会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター（市役所本庁舎1階）
- ・ 希望ヶ丘図書館・安積図書館
- ・ 富久山図書館

なお、令和3年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



会議録検索システム



志翔会

佐藤 徹哉

議員



バックキャストイングによる郡山の都市像について

問

本市の将来展望人口を現在より大きく設定し、それを達成するためのバックキャストイング思考が必要と考えるが、描く都市像は。

答

すでに到来している人口減少社会においても、地域経済の基盤を担う中枢中核都市としての責務を深く認識し、こおりやま広域圏での「広め合う、高め合う、助け合う」関係を一層深化させていく。

そのうえで、公民協奏により、市民や事業者の声と、将来予見可能性の高い課題からのバックキャストの視点を調和させ、新たな時代における連携・パートナーシップに基づいた、持続可能で自由闊達な都市の空気に満ちた郡山の創生を推進していく。

中小企業のDX※推進について

問

コロナ禍にあつて、DX推進が今の中小企業への支援策として優先度が高い課題とは思えないが、どのような支援を考えているのか。

答

産業のDXとは、ITやデジタルを使って変革を起こし、企業の利益を伸ばす仕組みを作ることであり、コロナ禍において、企業がテレワークや電子商取引などを推進することは、将来にわたり競争力を確保するためにも重要な取組みであることから、今後を見据えた優先度の高い事業であると認識している。

※DX：デジタルトランスフォーメーションの略





新政会

廣田 耕一

議員



市政執行方針について

問 市長三期目の市政執行をどのような考えで行うのか。

答 日々刻々と変化する地域課題に対し、客観的事実に基づく説明責任を果たしながら集中的に取り組むとともに、将来課題や目標からのバックキャスト思考により、長期的展望に基づくロードマップを描いていく。

誰一人取り残さないSDGsの基本理念実現を目指し、公民協奏により、ポストコロナ時代でも経済県都として、地域をけん引する新しい生活様式実現型課題解決先進都市の創生に全力を尽くしていく。



新型コロナウイルスワクチン接種の更なる促進について

問 郡山モデルとして好評価を得た本市のワクチン接種について、今後の進め方は。

答 高齢者は、接種券を発送した人の約88%の予約があり、基礎疾患のある人や身体障がい者手帳等を持つ人は、6月21日から順次接種券を送る。

また、6月12日からは訪問介護事業所職員、6月19日からは保育士や幼稚園教諭、子育て支援員等の接種を開始し、小中学校の教職員等は、夏季休業期間中での実施について協議・調整を進めている。

さらに、国の職域接種対象外の企業団体等からの要望にどう答えるか、郡山医師会等と協議しながら検討を進め、国が目指す11月中の接種完了に向けて取り組んでいく。



郡山市議会公明党

伯野 光夫

議員



生理用品の配布について

問 小中学生に生理用品を配布する生理用品サポート事業は、福祉まるごと相談窓口やこども家庭相談センター等への設置、生活困窮者支援団体への配布など、更なる拡充を進めるべきでは。

答 経済的困窮者から相談があった場合に、自立支援相談窓口や市社会福祉協議会と連携し、経済的支援や収入の安定を目指すなど、生理用品を含む生活必需品を日常的に購入できるような支援していく。

また、生理用品提供の求めには、防災備蓄品の更新対象となった生理用品の活用を考えている。



新型コロナウイルスワクチン接種の訪問診療などの活用について

問 自力で接種会場に赴くことが困難な接種希望者等のために、タクシー活用への支援策や、訪問診療等を活用した接種も考えられるが見解は。

答 個別接種の開始により、身近な診療所などで接種を受けられる体制を整えていることから、移動方策としてのタクシーの活用は考えていないが、75歳以上の市民は、高齢者健康長寿サポート事業利用券の活用が可能であり、その利用を周知していく。

訪問接種は、交通手段のない市民には効果的な手法だが、ワクチンの適正管理や接種後の経過観察等の課題があるため、郡山医師会と協議し、条件整備を検討していく。



緑風会

大木 進
おおき すすむ
議員



メディカルヒルズ郡山基本構想2.0の推進について

問 本構想の実現に向けて、農業試験場跡地を所有する県との協議状況や今後どのように推進し、医療機器関連産業の集積を図っていくのか。

答 本構想を踏まえ、地区計画運用指針を令和2年3月に策定し、エリアの大半を所有する県に協力を要請し、その後、県と協議・相談を7回実施した。

今後、県や関係機関等と緊密に情報を共有し、開発計画等が提出された際は、本構想や地区計画運用指針等との整合を図りながら、早期に実現できよう積極的に支援していく。



現在の農業試験場跡地

保育所等のDX化の推進について

問 感染予防対策にも効果的であるDX化の推進について、取組みの現状と今後の方針は。

答 保育所等では、コロナ対策による職員負担が大幅に増加しており、DX化の推進による負担軽減が急務である。

登降園管理や保護者への一斉連絡、成長記録の管理等の保育業務を効率化するシステムの導入が職員の負担軽減等、保育所等運営の効率化に効果があると考え、今年度中に全ての公立保育所へ導入する。また、民間認可保育施設に対しても、システム導入を促すための補助を行っている。今後、コロナ対策や職員の働き方改革にもつながることから、積極的に推進していく。

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブの5月1日現在の待機児童は167人となっているが、全ての児童のニーズに応えるための待機児童解消策は。

答 平成27年度以降、小学校30校に定員1千410人分の施設拡充を進めてきた。

引き続き、余裕教室や近隣施設等を活用した施設整備を進めるとともに、今年度から実施している民間放課後児童クラブとの連携、さらには、事業委託を含めた民間活力の導入など、待機児童ゼロに向けたあらゆる方策について検討していく。



立憲・社民フォーラム

八重樫 小代子
やえがし せよこ
議員



新型コロナウイルスの変異株への対応について

問 現在本市では、変異株の検査を実施しているが、今後は全ての陽性患者に実施予定なのか。

答 本市では、4月から保健所において新型コロナウイルスの陽性と確認された検体について、週1回、N501Y変異株のスクリーニング検査を実施しており、6月17日までの検査実施率は37.7%である。

国の通知においては、管内の全陽性者数の約40%分の検体を目処に変異株PCR検査を実施するよう要請されている。今後、新型コロナウイルス陽性者数の約40%に対する変異株PCR検査を実施できる検査体制を確保していく。



日本共産党郡山市議団

おかだ てつお
岡田 哲夫
議員



小規模家族農業への支援について

問 今後、本市が持続的な発展をしていくためには、食料自給確保への対策強化は避けて通れない課題である。

市の農業の主体は小規模家族経営であり、所得補償を含めた小規模家族農業への支援が必要では。

答 所得補償等について国の動向を注視するとともに、小規模農家それぞれの経営実態に応じて、6次産業化、パイプハウス等の施設化による品質と生産性の向上、新技術の活用によるコスト削減や省力化、人と農地の問題解決のために話し合う「人・農地プラン」の作成推進など、持続的な営農が継続できるよう、関係機関と連携しながら支援していく。

電力の地産地消について

問 再生可能エネルギーでの十分な電力確保には、地域新電力の取組みが必要になる。

本市においても、地域新電力会社の設立にあたっては、出資を行うなど積極的に関与していくべきでは。

答 地域新電力に参画の意思を示す企業の増加や昨冬の電力市場高騰の状況等も踏まえ、地域新電力の事業安定化に向け、地域の関連事業者と意義ある意見交換に努める。

また、電力高騰時のリスク低減に関する情報提供等の支援に努めていく。



市役所本庁舎の太陽光パネル

請願・陳情の方法

～ 市議会へ、いつでも、どなたでも要望を伝えることができます ～



	請 願	陳 情
受 付	市政一般質問初日の午後5時 ※定例会中に審議を希望する場合	開会日翌日の午後5時 ※定例会中に議員への配付を希望する場合
取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ●関係する委員会で審査の上、本会議で審議し、採択・不採択を決定します。 ●採択した請願のうち、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過や結果の報告を求めます。国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。 	<ul style="list-style-type: none"> ●陳情書の写しを各議員に配付します。

請願書 年月日

郡山市議会議長様
(請願者住所)
(請願者氏名) ㊟
(紹介議員) ㊟

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

紹介議員が
必要



紹介議員は
不要

陳情書 年月日

郡山市議会議長様
(陳情者住所)
(陳情者氏名) ㊟

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

令和3年6月定例会 市政一般質問

● 今回の質問者数 14名

● 掲載項目

行った質問のうち、質問者が選択した2項目を掲載しています。

● 記事の内容

掲載の質問や答弁は、要約しています。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

● 録画中継

各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

● 会議録

市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・ 市政情報センター(市役所本庁舎1階)
- ・ 希望ヶ丘図書館・安積図書館
- ・ 富久山図書館

なお、令和3年6月定例会の会議録が御覧いただけるのは、9月上旬になります。



会議録検索システム

立体駐車場の運用について



日本共産党郡山市議団

たかはし よしはる
高橋 善治 議員



問

(仮称)歴史情報・公文書館建設に伴い、立体駐車場を整備することのだが、文化センター等の公共施設利用者の無料使用や入庫時の混雑対策はどうするのか。

答

立体駐車場は、麓山地区の公共施設利用者の駐車環境の向上のため整備するものであり、防犯や放置車両等の対策、公共施設利用者以外の利用を控えてもらう方策についても考慮し、今後検討していく。

混雑対策として、歴史資料館前の市道から駐車場に入るための新たなレーンの設置や立体駐車場の敷地内での車の滞留スペースの確保等、プロポーザル方式による提案等も踏まえ、検討していく。

公共施設のインターネット環境整備方針について

問

公民館などの、市民が利用する公共施設のWi-Fiの使い勝手が悪いとの意見があるが、利用者が活用できるインターネット環境の整備方針を明らかにすべきでは。

答

現在は、設置場所の近くでの利用を前提としており、施設全体で利用するためには、機器類やネットワークの増設が必要であり、1施設あたり、地域公民館規模で約30万円、中央公民館規模で約50万円を見込んでいる。

今後も、利用状況等を勘案し、Wi-Fi環境の拡充に取り組んでいく。





志翔会 **森合** もりあい
秀行 ひでゆき 議員



小中学校のタブレット端末の家庭への持ち帰りについて

問 タブレット端末を効果的に活用していくためにも、家庭学習での利用も必要かと思うが、現在の家庭への端末の持ち帰りについて見解は。

答 家庭学習で端末を活用したデジタル教材の利用等は、個別最適な学びに繋がるものと認識している。

端末の持ち帰りは、保護者との連携をはじめ、コンテンツの充実やルール作り等が必要なことから、現在、市内学校で実証研究を行っている。

今後は、発達段階や必要性に応じた持ち帰りの調査研究を進め、指針を策定していく。



タブレットを活用した授業風景

開成山公園Park-PFI事業導入のメリットについて

問 Park-PFI事業は、民間活力を取り入れた新たな都市公園の整備手法だが、本事業を導入する制度上のメリットは何か。

答 国は、平成29年度に都市公園法を改正し、民間投資の誘導や民間の柔軟な発想等を取り入れ、公園施設等を整備する公募設置管理制度（Park-PFI制度）を創設した。

公園施設整備費の10%を民間事業者が負担することが制度要件となっており、残り90%を国の補助事業とすることができることから、市の財政負担の軽減が図られる。

また、公園施設と収益施設等を併せて整備することによる、質の高い空間の創出などがメリットとなっている。

福島水素エネルギー研究フィールドとの連携について

問 水素ステーションの設置目標を掲げている本市においては、福島水素エネルギー研究フィールド（FHR）との連携で水素サプライチェーンの構築につながるかと考えるが見解は。

答 FHRで生産される水素を、今後、水素ステーションに安定的に供給できることは、安積町で開所予定の商用定置式水素ステーションを含めたサプライチェーンの構築につながるものと考えている。

今後も、水素利活用推進研究会において、実現に向けた課題整理や解決策について協議を行っていく。



志翔会 **佐藤** さとう
栄作 えいさく 議員



郡山インター線の東北道以西の整備計画について

問 都市計画マスタープラン2015では「骨格幹線道路は、拠点となる地区を連携する道路であることから、郡山インター線の整備を検討する」とあるが、検討状況は。

答 農業試験場跡地エリアの交流推進拠点と西部工業団地の工業拠点とを連結する路線で、西部第一工業団地の第二期工区の工事を来年度から着手予定であるため、将来、交通量の増加が見込まれることから、整備の必要性が高まっていると認識している。

今後は、国・県等と連携を図りながら、実現に向け取り組む。



郡山インター線の整備予定道路



緑風会 名木 なぎ
敬一 けいいち
議員



中央図書館の災害復旧事業に併せた環境整備について

問 中央図書館で福島県沖地震の被害調査をしたところ、3階部分にはWi-Fi環境が整備されていなかった。

答 3階は市民が利用する学習室等があることから、この度の復旧修繕に併せて追加整備をすべきでは。

問 中央図書館3階は、平成20年に学習室1室を整備し、令和元年に2室を追加で整備したが、安定したインターネット環境ではなかった。全面再開に際しては、全館で市民がより使いやすいインターネット環境を整備していく。



中央図書館の被害調査

富久山公民館富久山分室の再建方針と進捗状況について

問 富久山町は、アンダーパス部が多く、大規模水害時には、久保田橋を利用することにより東西の往来が可能となることから、富久山分室は現在の場所にあることが大変重要な意味をもっている。

答 地域住民は一日も早い再建を願っているが、再建の方針及び現在の進捗状況は。

問 現施設の解体後は再建を前提として検討することとしており、運動施設や避難所としての機能などについて意見を集約するなど、整備に向けた作業にも着手している。

答 今後は、整備方針案を作成したうえで、地域の声も聞きながら、求められる機能を整理し、スピード感をもって整備方針を決定していく。



新政会 會田 あいた
一男 かずお
議員



空き家バンクのPRについて

問 空き家バンクの取組みを更に推進するため、市のホームページの目立つところにリンクを貼り付け、積極的にPRすべきでは。

答 市ウェブサイトのこおりやま移住・定住ポータルサイト等にリンクを貼り付け、NPO法人こおりやま空家バンクのウェブサイトに誘導・案内をしているほか、チラシの固定資産税納税通知書への同封や死亡届の受付時での配布により、空き家の活用やこおりやま空家バンクについてPRしている。

問 空き家バンクの取組みを更に推進するため、市のホームページの目立つところにリンクを貼り付け、積極的にPRすべきでは。

答 市ウェブサイトのこおりやま移住・定住ポータルサイト等にリンクを貼り付け、NPO法人こおりやま空家バンクのウェブサイトに誘導・案内をしているほか、チラシの固定資産税納税通知書への同封や死亡届の受付時での配布により、空き家の活用やこおりやま空家バンクについてPRしている。

富久山クリーンセンター対岸の整備について

問 富久山クリーンセンター対岸の立ち木や堆積土砂については、国の治水対策プロジェクトに入っているのか。

答 国のプロジェクトに位置付けられた河道掘削を下流から順次進め、当該地周辺は、令和元年東日本台風で堤防が決壊した藤田川のバックウォーター対策として、左岸側の施工を先行し、昨年度に樹木伐採が完了し、今年度は、河道掘削を実施する予定である。

問 対岸の樹木伐採・河道掘削については、左岸側が完了後、引き続き実施する予定と国から聞いている。



クリーンセンターの対岸(右岸)にある立ち木



志翔会 塩田 しおた

義智 よしとも 議員



産学官等連携の今後の促進について

問 「第三次郡山市食と農の基本計画」の基本施策である産・学・官・金・福・土・医の連携について、今後どのように促進を図るのか。

答 これまでの取組みを継続的に進めていくことが重要であると考えており、市学術・研究機関ネットワーク形成会議を開催したところである。

本会議は、産業全般の研究機関を対象としている会議であり、貴重な異業種との情報交換の場として有効に活用されるものと考えている。

今後は、認定農業者協議会や市農業法人連絡会等の既存の農業者の団体の要望に応じ、異業種の機関との連携について調整を図り、取組みを継続的に進めていく。

養鯉業者への支援について

問 非常に厳しい状況で経営を続けるのが困難だと聞いているが、養鯉業者がいなければ鯉の魅力は発信できない。養鯉業者への支援は。

答 鯉の消費拡大等を目的に、鯉食キャンペーン等各種事業を継続展開してきた。

また、IoT※導入プログラム事業に着手し、事業の成果によつては養鯉業者の負担軽減に繋がるものと考えている。さらに企業版ふるさと納税を活用し、新たな加工品の開発にも着手しており、今後も支援と併せ、魅力発信に取り組んでいく。



鯉バーガー

※IoT：センサーなどの機器をインターネットに接続し、離れた所から物の状態の把握やデータの活用を可能にする技術



新政会 折笠 おりかさ

正 ただし 議員



米の転作推進に向けた取組について

問 農業者への転作推進の理解へ向け、どのように取り組むのか。

答 米を基幹作物とする本市としては、需要に応じた米生産の取組みが重要であり、米の需給や価格安定対策については、全国的な対応が必要と考えている。

このため、国等の動向を注視しながら、農業経営者自らの経営判断に基づき、飼料用米や高収益作物である野菜等への転換が図られるよう、戦略作物等の生産・販売や、収益性の高い農業への取組みを支援していく。



生育が進む水稻

凍霜被害を受けた農家への対策について

問 降霜により農作物被害を受けた農家への対策は。

答 県、JA等と連携し、農家の意向を踏まえた上で、低温への遭遇防止に必要な燃焼資材の購入や、凍霜害を受けたほ場において、品質確保を図るために必要な果樹の管理作業に要する経費の一部を本定例会に予算計上している。

今後、規格等にばらつきがある生産物の発生が想定されることから、販売体制についても関係機関と連携しながら、農家の収入減少を抑制し、次年度への営農が継続されるよう支援していく。

国・県の仕様書に基づいていることを確認している。



被害のあったプール配管接合部

設計・設備工事の検証は、本市職員が実施設計完了時と竣工時に、

問 地震被害の原因と設計・設備工事の検証は。
答 福島県沖地震は、周期1秒以下の短周期成分が大きい地震で、本施設の設計業者からは、短周期の地震動は、設備など非構造部材等に大きな被害をもたらし、揺れの強さや周期、方向、配管の向き、配管内の動水圧など様々な要因で、配管接合部に応力が集中したことが破損の原因であるとの説明を受けている。

郡山しんきん開成山プールについて



虹とみどりの会

蛇石

郁子 議員



生活保護申請受理から住まい決定までの居場所について

問 申請手続きを終えても、住居が決定するまで約1か月は、支援者が必要である。

答 安心して寝起きができる一時避難場所として、市はシエルトーや母子支援施設、無料低額宿泊所などを準備する必要がありますのでは。

問 申請手続きを終えても、住居が決定するまで約1か月は、支援者が必要である。

答 生活保護申請者が、やむを得ず一時的に民間宿泊所等を利用した場合、保護の基準の範囲で宿泊料を支給できるとする国の通知が出されたことを受け、対応している。このことから、新たに一時避難場所としての施設を設置する考えはないが、今後、NPO法人や不動産関係の団体等が無料低額宿泊所の設置運営を希望する場合には、連携を図っていきたい。

市議会ウェブページ

本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧いただけます。詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。



郡山市ウェブサイトアドレス
<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

郡山市議会

検索



市議会ウェブページ
QRコード



国民民主党

渡部 わたへ

龍治 りゅうじ
議員



郡山駅東地区開発の課題について

問 市と保土谷化学工業株式会社が、郡山駅東地区開発について情報交換し、企業側と行政側の課題検証をしていることと思うが、行政側の課題はどこにあるのか。

答 駅東地区の土地利用の進め方として、広域的な医療、教育、文化施設等の立地誘導、高度な土地利用の推進、交通結節機能の改善などの課題があるものと認識している。

当地区は、本市の産業を支え、発展に大きく寄与した多くの工場が立地していることから、事業者の意見を聞きながら、引き続き協議を進めていく。



郡山駅東地区

大町土地区画整理事業の諸課題について

問 大町土地区画整理事業により、日の出通り線の整備が進められている。

今後、駅へ向かう人の流れや交通量の変化を予測し、バスターミナルへ直結する交差点整備等、想定している諸課題は何か。

答 当該区画整理事業は、日の出通り線等の公共施設の整備により、本市の玄関口に相応しい市街地の形成を目的として推進している。

駅前広場との連結強化や歩行者等の安全性・利便性を考慮したペDESTリアンデッキの検討、交通混雑の緩和などのほか、更なるまちなかの賑わい創出などが課題と考えている。



志翔会

佐藤 さとう

政喜 まさき
議員



「ごはんの日の制定について

問 「郡山市民ごはんの日」を制定し、米食のPRと消費拡大に努めてはどうか。

答 昨年度、感染症の影響で低迷するあさか舞の消費の回復と、子どもたちの栄養支援や家計の負担軽減を目的に、国の交付金を活用して各種事業を展開した。

本年度においても、抽選で本市の特産品が当たるあさか舞消費拡大プレゼントキャンペーンや出生祝いASAKA M A I 887贈呈事業等を予定しており、「郡山市民ごはんの日」の制定にこだわることなく、引き続き、関係団体等と連携し「郡山市は毎日ごはんの日」と浸透するように情報提供や消費拡大とPRに努めていく。

ふくしま逢瀬ワイナリー関係者の意見交換について

問 良質なブドウ生産の課題解決のため、生産者、市及び三菱商事復興支援財団の意見交換はこれまでどのように行われていたのか。

答 プロジェクトを進めるにあたり、ワイン用ブドウ生産者で組織する郡山地域果実醸造研究会・市・ワイナリーの3者で意見交換を行ってきた。ワイン用ブドウ栽培について、講習会を開催して専門的な技術の習得に努めるとともに、ICT活用高品質化モデル事業にも取り組んでおり、3者の意見交換を必要に応じて行い、連携を進めていく。



ワイナリーとブドウの木



郡山市議会公明党

山根 悟 議員



多言語版の防災ハンドブックについて

問 多言語版をウェブで閲覧できる状態にするなど、更に充実させる取組みが必要では。

答 3月に発行したハンドブックの概要版として、外国人にもわかりやすいやさしい日本語をはじめ、英語、中国語、韓国語に、新たにベトナム語を加え多言語化したハンドブック5千部を、8月までに作成し、外国人を雇用している事業所や留学生が在籍する専門学校などに配布する。

また、公共施設や市内ホテル等に備え付けるほか、市ウェブサイトに掲載していく。



夜間中学の整備に関して

問 県は、市町村立での整備を検討している現状である。

本市は、県立での整備を要望する方向であったが、県の意向も踏まえ、東北初となる市立夜間中学の設立を目指すべきではないか。

答 様々な事情により義務教育未修了の方や、外国籍の方などが、夜間中学で学ぶ機会を得ることは重要であると認識しており、本市のみならず隣接する市においてもニーズが存在することから、市町村の垣根を越えた設置が望ましいと考えている。

今後も、7月に開催を予定している、県主催の夜間中学設置検討委員会において議論していく。



立憲民主党

吉田 よしだ

公男 きみお 議員



令和元年東日本台風に係る越水情報の記録について

問 阿武隈川左岸石淵地区の越水情報について、市長はホットラインによる国の情報提供を否定したが、令和元年10月13日0時33分及び1時23分に氾濫情報を受信した越水情報は記録されているのか。

答 国と市長とのホットライン11回のうち、記録にあるものは、10月11日午前8時45分に台風の進路情報等、12日15時20分に20時頃の阿武隈川水位予測、氾濫危険水位到達、12日19時43分に21時頃の阿武隈川水位予測、氾濫危険水位超過の3回であり、質問の10月13日0時33分及び1時23分の越水情報に関するホットラインは記録されていない。

荒池等の落水及び減水量、経費について

問 5月20日に実施した荒池等の落水、減水量及びそれに要した経費はいくらか。

答 水位調整の可能なため池等について、大雨に備え、事前に水位調整を実施した。荒池が2万7千 m^3 、五百淵が6千100 m^3 、大久保池が1千800 m^3 、宝沢沼が8千 m^3 、枇杷沢池が2万2千500 m^3 、万海池が1千875 m^3 、開成山公園内の五十鈴湖が2千600 m^3 である。

作業は、荒池、万海池、大久保池、五十鈴湖は市職員が行い、五百淵、宝沢沼及び枇杷沢池は管理している養鯉業者、地元の協議会等に依頼した。



落水した荒池



無所属の会

やない
筋内

よしひろ
好彦 議員



子ども・若者育成支援推進法に基づく取組みについて

問 市長選時に行った公開質問で回答したとおり、子ども・若者地域協議会の設置、子ども・若者計画の策定、子ども・若者総合相談窓口の設置を検討するということでしょうか。

答 新型コロナウイルス感染症の流行により、経済的格差の拡大など、社会環境が急激に変化し、子ども・若者を取り巻く新たな課題が出てきた。これらを踏まえ、子ども・若者支援団体と協議する場の設置を検討しており、その中で、計画の策定や協議会の設置、相談窓口の設置の必要性を検討していく。



通常学級における特別支援教育について

問 発達障がい又はその疑いがある児童生徒が、特別支援学級より通常学級に多く在籍する中で、通常学級の該当児童生徒にも、個別指導計画に基づく合理的配慮のある教育が実施されているのか。

答 通常学級に在籍し、通級指導教室を利用する児童生徒は、個別の教育支援計画と指導計画の作成が義務付けられ、必要な合理的配慮を明記し、指導している。

通級指導を受けていない発達障がいのある児童生徒等は、本人や保護者からの申し出により、教育支援計画等を個別に作成し、申し出がない場合も、教育的配慮として、必要に応じて個別に作成し、きめ細かな支援を行っている。



立憲・社民フォーラム

やなぎだ しょういち
柳田尚一 議員



今後のデジタル弱者対策について

問 本定例会に計上された「高齢者に向けた講演会・デジタル機器体験講座の実施」の予算が45万円と少なすぎる。高齢者などデジタル弱者に對して、今後、どのような対策を考えているのか。

答 これまで公民館における初心者向けインターネット講座の開催等を行ってきた。補正予算案を上程している。高齢者支援の取組みを更に拡充するものである。

また、昨年度、視覚に障がいのある方向けの講座が開催され、本年度も予定している。今後も、生活福祉の向上につながるよう、多様なニーズに即した活用支援の取組みを推進していく。

乗合タクシーの委託契約の内容について

問 乗合タクシー事業で市が運行会社に発注している業務委託契約の内容は。

答 乗合タクシーは、市の事業として郡山地区ハイヤータクシー協同組合に業務を委託し、同組合において地区ごとに運行事業者を決定している。委託料については、1運行に要した認可運賃、いわゆるタクシーメーター料金に利用者からの利用料を差し引いた額と、予約受付のオペレーター費用として日額1千600円を加えた額を、月ごとに支払っている。



地区を走る乗合タクシー

旧豊田貯水池利活用特別委員会



■審議事項に係る協議等

4月14日・23日開催の委員会において、参考人からの意見聴取を踏まえ、市への提言項目の内容や提言書の取りまとめ方針について協議しました。

5月12日の委員会では、具体的な提言事項について協議し、5月25日の委員会では、提言書(案)を決定しました。

■提言書の提出

提言内容をとりまとめた「旧豊田貯水池の利活用に向けた提言書」は6月11日の本会議において全会一致で可決され、同日、市長へ提出しました。

なお、令和2年12月定例会において設置した本特別委員会、付託案件が結審したため、廃止されました。

■提言書の概要

◇利活用方針について

- 1 慎重な検討について
市民の幅広い意見を把握し、慎重に検討していくこと。
- 2 整備方針について
市民が納得する活用方法となるよう検討すること。

トータルコストの縮減等について視野に入れながら整備手法の検討を行うこと。
暫定的な活用について
旧豊田浄水場跡地を常時利用できる

駐車場として暫定的な活用を図ること。



品川市長に提言書を手渡す七海議長ら

議場見学



5月28日に西田学園、31日に芳山小学校、いずれも6年生が議場見学を行いました。

前半は、議会の役割や仕組みなどについて、議員からの説明を受けました。

後半の模擬議会では、SDGsを広める活動を行うこと、自転車通学を認めること、地域のごみ拾いをする事など、児童が自ら考えた議案を提案し、市長役・議長役・議員役に分かれ、電子採決を体験しました。



議員席で電子採決を体験

議場見学の申込は、議事事務局へお問い合わせください。

議会の傍聴

本会議や委員会の様子は、どなたでも御覧いただけます。

議会の傍聴は、市政の運営を知り、市民の皆さんが選んだ議員の活動状況などを理解する一つの方法です。

	本会議	常任委員会
受付場所	西庁舎7階 傍聴受付	西庁舎6階 議会事務局
受付時間	会議開始 30分前から	会議開始 40分前~20分前

こおりやま市議会だより

- 行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置するとともに、市議会ウェブページに掲載しています。
- 視覚が不自由な方のために、点字版・音声版を発行しています。



各会派から議長へ政務活動費の収支報告がありましたので、その内容をお知らせします。
会派名、所属議員数は、令和2年度末時点のものです。

支 出 内 訳							差し引き額 【市への返還額】	会派 執行率 (%)
要請・陳情 活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	通信運搬・ 自動車燃料費		
0	0	186,023	1,106,848	0	1,287,212	333,126	6,289,017	56.33
0	0	93,273	500,650	0	122,769	431,314	6,609,620	38.80
0	0	32,822	299,369	0	130,942	248,771	1,691,534	64.76
0	0	138,460	134,433	0	316,088	103,405	625,211	86.97
0	0	13,624	62,733	0	0	0	796,748	77.87
0	0	1,066	35,128	0	0	12,636	26,906	98.88
0	0	2,635	79,680	0	15,048	0	115,280	90.39
0	0	2,030	95,823	0	6,957	0	1,095,190	8.73
0	0	0	0	0	27,950	0	1,172,050	2.33
0	0	0	0	0	0	0	1,200,000	0
0	0	469,933	2,314,664	0	1,906,966	1,129,252	19,621,556	56.97

(単位：円)



政務活動費について

■政務活動費とは？

議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として支給される費用です。

■本市議会の交付概要

会派(所属議員が1人の場合を含む)に対し、議員一人当たり月額10万円が支給されます。

■収支報告

会派は、収支報告書等を作成し、領収書などを添付して、議長に提出します。

■情報公開

収支報告書や領収書等の写しは、市議会ウェブページのほか、次の場所で閲覧できます。

- ・ 市政情報センター（本庁舎1階）
- ・ 議会事務局（西庁舎6階）

■政務活動費の主な費目とその内容

調査研究費	市の事務、地方行財政等に関する調査研究 (視察旅費など)
研修費	研修会を開催する経費、研修会の参加経費 (参加負担金など)
広報費	会派の活動、市政について住民に報告する経費 (広報誌印刷代など)
資料購入費	図書、資料等の購入 (参考図書など)
事務所費	事務所の設置及び管理経費 (事務機器リース代など)

令和2年度政務活動費収支報告



会派名	項目	会派への 交付額	支出額	支出内訳			
				調査研究費	研修費	広報費	広聴費
志翔会 (12人)		14,400,000	8,110,983	24,920	1,327,310	3,845,544	0
新政会 (9人)		10,800,000	4,190,380	0	5,000	3,037,374	0
郡山市議会 公明党 (4人)		4,800,000	3,108,466	0	0	2,396,562	0
緑風会 (4人)		4,800,000	4,174,789	332,880	28,880	3,120,643	0
社会民主党 (3人)		3,600,000	2,803,252	0	0	2,726,895	0
日本共産党 郡山市議団 (2人)		2,400,000	2,373,094	0	0	1,364,294	959,970
虹とみどりの会 (1人)		1,200,000	1,084,720	0	0	987,357	0
無所属の会 (1人)		1,200,000	104,810	0	0	0	0
立憲民主党 (1人)		1,200,000	27,950	0	0	0	0
国民民主党 (1人)		1,200,000	0	0	0	0	0
合計		45,600,000	25,978,444	357,800	1,361,190	17,478,669	959,970

9月定例会開催予定

日	月	火	水	木	金	土
			9/1	2	3	4
				本会議一開会	議案調査(休会) ※陳情締切	休会
5	6	7	8	9	10	11
休会	議案調査(休会)	事務整理日(休会)	本会議(市政一般質問) ※請願締切			休会
12	13	14	15	16	17	18
休会	本会議(市政一般質問)	常任委員会		事務整理日(休会)	本会議一 補正予算等先議	休会
19	20	21	22	23	24	25
休会	休会	決算議案書熟読日(休会)	決算議案書熟読日(休会)	休会	決算議案書熟読日(休会)	休会
26	27	28	29	30		
休会	決算特別委員会			決算特別委員会 本会議一閉会		

- ・本会議の様子を市議会ウェブページから生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継 QR コード

※正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更になる場合があります。
詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

郡山市議会 議会報告会 意見交換会



令和3年 **11/13** **土** 会 場 **郡山市総合福祉センター 5F**
※車でお越しの方は、郡山市役所の駐車場をご利用ください。

議会報告会 13:30~14:00
■定例会報告 ■請願などの審査報告 ■各委員会報告
意見交換会 14:10~15:00
■防災力の向上



※郡山市内在住者が優先となります。
※事前にお申し込みされた方が優先となります。(報告会当日、席に余裕がありましたら参加可能です。)
※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、中止となる場合があります。

主催 郡山市議会
お問い合わせ 郡山市議会事務局 TEL : 024-924-2521

●右側のQRコードから申し込みができます。



編集 後記

本市では、小中学校に一人一台タブレット端末を配置することで、学校のICT環境の充実を図っています。自分の考えを人に伝え、共有することが求められている中では、有効な手段といえます。また、これまでの教科書は「読む・書く」だけでしたが、タブレットでは「聞く・話す」こともできるため、学校だけでなく、家庭でも楽しみながら学習できる利点があります。

情報活用能力の向上が重要性を増している中、ICT活用による教育環境の充実で、未来を担う子どもたちが大きく成長していくことを期待します。

次号より、新編集体制にバトンタッチです。今後も議会だよりを御覧ください。(柳田)